

党の伝統的な地盤であり、今度の選挙でも日本と強い経済関係をもっているこの地域から数多くの保守党議員が選出されていること、また日本がカナダ第二の貿易相手国で、技術提携などの産業協力がますます重要となっていること——などから、対日関係を重視する政策は今後も変わらないものと見られる。

国内的には、失業や財政赤字などの経

各界の反響

●圧倒的な勝利を得たマルルーニー氏と進歩保守党に祝意を表す。電話でマルルーニー氏に申し上げたように、政権の潤滑な委譲については、最大限の協力をするつもりだ。カナダの全国民はその意思を表明した。そして国民はいつも正しい。われわれはがっかりしたが、希望は失っていない。これから力を再結集して、次の選挙で再起するよう最善の努力をするつもりだ。

(ジョン・ターナー自由党党首)

●国民は変化を選んだ。マルルーニー氏を祝福すると同時に、新民主党は公正な課税、女性の平等、雇用の創設など、全国一般庶民のために、前面に立って運動してきたことを申し上げたい。新政権に對しても、こうした庶民の関心事に對する行動を迫るつもりだ。

(エド・ブロードベント新民主党党首)

●マルルーニー氏は、今後ともすべての利益グループの声を傾け、これまで

済問題に取り組むほか、女性の権利の拡大、英仏両民族を中心とする二言語・多文化政策の維持を約束している。

マルルーニー氏はまた、一九八〇年のケベック州民投票では、分離独立反対の側に立って運動し、またマニトバ州での言語論争では少数派のフランス系住民の立場を支持してきた。

対処されたことのない諸問題についてじっくり論議して欲しい。

(カナダ自営業連盟のジョン・ブロック会長)

●マルルーニー氏は争いを求めていないと思う。協調を求めることによって、万事都合よくいくはずだ。

(カナダ労働会議のマクダモット議長)

●選挙結果は、国益によく適うものと思われる——少くとも短期的には。習慣的に自由党を支持しないカナダ社会の一角が、ようやく政権の座を得た。これで、一九六八年以来、始めて本当の意味での全国的な政権が生まれたことになる。

(グループ・アンド・メール紙)

●新政権は、その正当性についていかなる政党、労働組合、経済圧力団体、州政府といえども疑問をはさめないほど、国民の強い信任を得た。しかしこのような高い信頼は、(権力の)乱用につながりかねない……。選挙結果は、指導者がケベック出身だという意味で歴史的に新しい意義をもっている。

(ル・ドゥボワ紙)

マルルーニー内閣が発足

進歩保守党のマルルーニー内閣が九月十七日に発足した。

新内閣の陣容は四十人で、その顔ぶれはカナダ全国にまたがっている。

外相には、元首相のジョー・クラーク氏(アルバータ州選出、四十五歳)、蔵相には投資会社ドミニオン・セキュリティーズの前社長で、クラーク政権のもとで国際貿易担当国務大臣をつとめたマイケル・ウイルソン氏(オンタリオ州選出、四十六歳)、国際貿易大臣には弁護士のジェームズ・ケレハー氏(オンタリオ州選出、五十三歳)、対外関係大臣には相互銀行連合会理事のモニク・ベジナ女史(ケベック州選出、四十八歳)が任命された。

副首相兼枢密院議長のエリック・ニールセン氏はユーコン準州選出の下院議員で元公共事業大臣。法務大臣のジョン・クロスビー氏はニューファンドランド州選出で、州内閣で大蔵大臣兼予算局長官などを歴任したあと、連邦下院に転出、クラーク政権のもとで大蔵大臣をつとめた(五十三歳)。

マルルーニー内閣の顔ぶれ

●首相 マーチン・ブライアン・マルルーニー ●副首相 兼 枢密院議長 エリック・ニールセン ●外務大臣 ジョー・クラーク ●大蔵大臣 マイケル・ウイルソン ●法務大臣



クラーク外相

兼 検事総長 ジョン・クロスビー ● 国際貿易大臣 ジェームズ・ケレハー ● 対外関係大臣 モニク・ベジナ ● 地域産業振興大臣 シンクレア・ステイブンズ ● エネルギイ・鉱山・資源大臣 パトリック・カーニー ● 農務大臣 ジョン・ワイズ ● 漁業・海洋大臣 ジョン・フレージャー ● 運輸大臣 トム・マザンカウスキー ● 国防大臣 ロバート・コーツ ● 科学技術大臣 トーマス・シドン ● 通信大臣 マルセル・マツス ● 厚生大臣 ジェイコブ・エップ ● 労働大臣 ウィリアム・マクナイト ● 雇用・移民大臣 フローラ・マクドナルド ● 公共事業大臣 ロック・ラサール ● 環境大臣 サンヌ・ブレルグレン ● 消費者・企業大臣 ミシェル・コテ ● 国税大臣 ベリン・ビティ ● 予算局長官 ロバート・ドゥコト ● インディアン・北方開発大臣 デビッド・クロンビー ● 供給・サービス大臣 ハービー・アンドンレ ● 警務長官 エルマー・マケイ ● 国務長官 W・F・マクレーン ● 復員軍人大臣 ジョージ・ヒース ● 国務大臣 ● 観光担当 トーマス・マクミラン ● 中小企業担当 アンドレ・ピソネット ● 運輸担当 ベノア・ブシャール ● 青少年担当 アンドレ・シヤンパンヌ ● スポーツ担当 オットー・ジエリネック ● 多文化政策担当 ジャック・マータ ● 財政担当 パーバラ・ジャン・マクドゥーガル ● 鉱山担当 ロバート・レイトン ● 林産担当 ジェラルド・メリシュー ● カナダ小麦局担当 チャールズ・メイヤー ● 与党上院院内総務 ダフ・ロプリン ● 与党下院院内総務 ラモン・ナティッシン